協力 感謝 信じて 逃げずに
10月
2026年度
西神吉小だより
加古川市立 西神吉小学校
学校通信
No.105

～ ５年　自然学校 ～



１０月２０日（火）から２４日（土）まで、４泊５日の自然学校に５年生が行ってきました。

兵庫県の特色ある教育活動である自然学校は、「学習の場を教室から豊かな自然の中へ移し、人や自然とふれ合い理解を深めること、長期宿泊体験を通して、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する力や生命に対する畏敬の念、共に生きる心を育むなど、‘生きる力’を育成すること」を目的として、３０年以上続く行事です。始まった当初は５泊６日で、４泊５日と１日短縮されはしたものの、兵庫県ならではの取組としてずっと続いてきました。

本校も「豊かな自然にふれ、その雄大さ、美しさ、厳しさを体験し、自然を愛する心を育てる」「自然の中で仲間と共に規律を守りながら共同生活をし、思いやりと助け合いの心を育てる」「考えて行動し、最後までやりぬき、豊かな心とたくましい体を育てる」というねらいをもって実施しました。

また、今年度のテーマは、
「力を合わせて　心をひとつに　自然でつくる最高の笑顔！」
です。プログラムについては、前半に時折雨が降り、時間変更が多少あったものの、予定していたプログラムをほぼ実施することができました。そして、子ども達の最高の笑顔をたくさん見ることができました。

【自然学校2026　プログラム】

	10/20（火）	10/21（水）	10/22（木）	10/23（金）	10/24（土）
午前	開校式 入所式 オリエンテーリング	ドリームプロジェクト アイスづくり	お弁当作り 高丸山登山	お土産づくり 飯盒炊さん② （焼きそば）	カートンドッグ 片付け・清掃 退所式
午後	リーダータイム ドリームプロジェクト 箸づくり	食材探し 飯盒炊さん① （カレーライス）	リーダータイム 魚つかみ	スタンツリハーサル アソベチックタイム オリエンテーリング	閉校式
夜		もちつき	ナイトハイク 天体観測	キャンドルサービス	

これらの活動を通して、子どもたちは、社会生活、集団生活に必要な「時間をきちんと守り、ルールに従って行動することの大切さ」を学びました。そして、仲間とともに達成していくこと、創り上げていくことの喜びを味わいました。驚いたことに、５分前行動が、子どもたちの力で１０分前行動へと変わっていったことです。いつも時間前には集合を完了していました。すごいことです。

例えば登山。しんどい登山も、みんなで励まし合って、歩くペースを合わせて、登頂することができました。

例えば野外炊飯。準備や調理、火おこしをして、美味しく食べるところまでは楽しかったはずです。ところが、後片付けは本当にたいへんです。薪の炎で直火に当たった飯盒や鍋、鉄板などは、煤まみれで、簡単にはきれいになりません。それでも、黙々とたわしでこすり続けていた子、汚れた作業台を見つけてきれいに拭いていた子、最後まで流し台の生ごみを取っていた子がいました。宿舎スタッフの厳しいチェックに、何度もやり直しになったとしても、最後までがんばりました。飯盒炊さんを２回しましたが、２回目には、一発合格、しかも時間内に全ての後片付けを終えることができました。

しかしながら、慣れない場所で過ごしたり、家族と離れて過ごしたりする不安や寂しさが少なからずどの子にもあったと思います。５日間もみんなで一緒に寝食を共にしていると、ストレスも生じてきます。そうした不安や寂しさやストレスは、普段の学校でなら許せることでも、ついついイラっとしてしまい、友だちにきつくあたりけんかになることも自然学校中にはよくあります。５年生のみんなそれぞれに、楽しかったことやうれしかったことだけでなく、しんどかったことや悲しかったこともあったと思います。今回の自然学校で経験したすべてが、今後の力になると信じています。

ほとんどの子どもたちにとって、これだけの期間、親元を離れた環境の中で集団生活をおくることは、初めてで貴重な体験になったことと思います。５日間を仲間の励ましやアサヒロッジのスタッフ、教師や補助員、救護員の支えによって乗り越えたことが、これからの生活に大きな自信となってくれることと思います。